## 社会人基礎力

任宏人基件		1 8 11 11	1 A 11 TH	1 A 11 TT	1 8 11 77 4	1 8 11 77 0
	レベルI	レベルⅡ	レベル田	レベルⅣ	レベル∇−1	レベルV-2
前に踏み出す力	を自ら進んでしている。 口新人である事を自覚し、指導に対して、感謝の言葉を示し返事している。 口自分のできていること、できていないことを知ることができる。 口困っている事を同僚に伝え	し、理解しようとしている。 口物事に対し肯定的で他人 のせいにしたり、不平・不満を 口にしていない。 口業務遂行上困難な時、他の メンバーに協力を依頼でき	仕事をすすんで引き受けている。 口納得してもらうための方法 を駆使し、分かりやすく説明している。	□チームの問題や課題に対してメンバーとともに、悩み、喜んでいる。 □スタッフの適性、特性を理解し、機会あるごとに指導している。	実行し、スタッフに動機付けし ている。	
考えぬく力	たことは、まめにメモしている。 □分からないことは人に聞いたり、本で調べたり、手順を調べている。 □各時期の自己目標にそって、自分が準備するべきことについて計画を立て行動することができる。 □自分が大切にしている看護について説明している。	とは何か考え発言している。 口与えられた課題について計画を立て、進歩に影響を及ぼさないようにしている。 口日常業務に対しより良いやり方や効率的な方法はないかといった視点で取り組んでいる。	双方から自己の課題とチームの課題を抽出している。 口無理のない適切なゴールを設定し段階的な方策を立てている。 口自己の看護師としてのあるべき姿を表現している。		問題があるときは機を逃さず 上司やスタッフに相談したり、 提案している。	
チームで働く力	からないことの相談をしている。 □チームカンファレンスなどで発言している。 □他の人に意見を聴くときは目を合わせ、相槌を打つなどしている。 □新入職者に期待する役割について知っている。 □精決定の背景について知って知っている。 □時間に余裕をもって出勤し上司の指示はよく守っている。	区別し説明している。 □患者・家族の不平や不満に対しその真意を理解しようとしている。 □相手のペースの違いを理解しそれに合わせた方法を現している。 □部署目標・担当業務を理いる。 □電等し後輩に助言している。 □情労の長所・短回りないともできないときにいる。 □にいる。また、セルフコントロールできないときには適切な人に相談できる。	自分の考えを同僚や多職種に感情を害することなく伝えている。 口目標達成に向け他のスタークのアイディアや考えを上に引き出している。 口同僚・多職種の意見を聞き、修正しながら業務をすすめている。 口他部署で行われている下いるので付かれている。 口他部圏であり、カンファムや研修会に参いがのであり、加している。 口倫理の原則に意思決定している。	□患者・家族や同僚の要望をよく聴き、自分の権限の範疇できることを判断している。 □クレーム、問題発生に対見を聞き、修正しながら業を出いる。その結果を上のでもの業務とのは報告している。では報告している。では報告に報告を表表の情報を得て、現状を見比べている。 □対が、修正しながら発表といる。 □対が、修正しながらまた。 近、対が、といる。 日本が、対を見いる。 日本が、対を見いる。 日本が、対を見いる。 日本が、対を見いる。 日本が、対を見いる。 日本が、対を見いて、発生する様々な倫理問題において、発生する様々な倫理問題において、発いる。	の要望をよく聞き、問題発生前に予防策を講じている。 口医療チームへの対応を公平にしている。	